

# 高岡市立西五位公民館

## ◆事業の目的

身近なふるさとの川と山を巡り、長い歴史や自然を理解しふるさとの素晴らしさを体験する。  
集団行動を経験しながら、チームワークの必要性や、異年代の交流（子供、大人）を体で覚えていく。  
その季節を、五感で十二分楽しむことを目的とする。

## ◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
7月29日（日）	小矢部川と橋にまつわる歴史を学び水に親しもう	福岡防災センター 上野堰堤土屋親水公園、小矢部川	34名
9月30日（日）	子撫川の源流と三角点を探検しよう	沢川地区 山中	23名

## ◆事業の様子

### ☆ 「小矢部川と橋にまつわる歴史を学び水に親しもう」

防災センターからバスで上野の堰堤へ移動。石碑前で川や五位庄頭首工の役割、美味しいお米が出来る事など聞く。川に沿ってウォーキングを開始、聖人橋や向田橋で歴史を聞き、西明寺川水門樋管ゲートで大雨時の役割などの話を聞いた。暑い中1時間30分踏破して、全員無事水分補給しながら土屋親水公園に到着。公園のプールで、カヌー体験をする。

カヌーの扱い方、乗り方、注意点など教えて貰い、一人ずつ手漕ぎであったが、プールの中を移動した。幼児園児は、兄弟や大人が付き添って体験し疲れもどこかへ吹っ飛んだようである。

### ☆ 「子撫川の源流と三角点を探検しよう」

土屋の木楽館からバスで沢川地区の山中へ出発。矢野公園（標高501m）で三角点を探し、種類があることや、三角点とは何か、役割や歴史などを教えて貰った。移動し、県境では水を流すと両方へ分かれて流れる様子（分水嶺）を実験してみた。又、子撫川の源流の場所を探し、やがて大きな川となり小矢部川に合流する事などを聞いた。

おやつタイムでは講師の方の山で休憩し、トンボやアケビ、栗やドングリを沢山拾い楽しんだ。帰りに、沢川地区内の貴重な文化遺産、田畑家の大杉や堀、愛宕神社の大銀杏の乳根なども見学し地区に残る歴史についても沢山教えて頂いた。



## ◆事業の成果と課題

ふるさとの川や橋、水の歴史と共に水の大切さと災害時の怖さも防いでくれる事などを学んだ。  
また、山中では三角点を確認したり、分水嶺の実験を見たりして理解を深めた。水に親しむ為にカヌー乗り体験もしたが、乗り方や注意点を真剣に聞く様子から集中力があると感じられた。幼児には兄弟姉妹がお手伝いし気遣うなど微笑ましく、異年齢異世代がスムーズに交流出来た。  
計画にあたり、地区の方が講師や環境整備を快く引き受けて頂き、温かさに感謝したい。  
今後も、楽しく学べる自然体験の機会を計画していきたい。